

富者の驕らざるはかたければ、皆人の習なれども、身の至て徳のおもからんにつけても、よくしづまりて、をだやかなるおもひを、さきとすべし。

〔貝原篤信家訓〕幼兒須教

一 およそ小兒を教育るに、○中 僞れる事、驕り肆なる事を、はやくいまして、必ゆるすべからず、

略○下

〔播磨風土記〕讚容郡彌加都岐原、難波高津宮天皇○仁之世、伯耆加具漏、因幡邑由胡、二人大驕無節、

以清酒洗手足、於是朝庭、以爲過度、遣狹井連佐夜、召此二人、爾時佐夜仍悉禁二人之族、赴參之時、屢

漬水中、○下

略